



構造実験に用いた三重塔の縮小模型(左:鍾なし、右:鍾あり)

雨ニモマケズ 風ニモマケズ 地震ニモマケヌ

文化財建造物を自然災害から守る

建築博物教室 第3回 公開ギャラリーセミナー

じしんのくに

地震国のアーキテクチャ

西川 英佑(文化庁文化財部参事官付(建造物担当) 震災対策部門 文部科学技官)

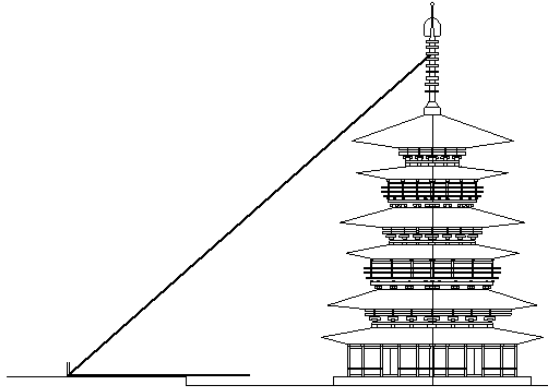
日時：2014年9月27日(土) 13:30~15:00

会場：東京大学総合研究博物館小石川分館 2階「空間標本」展示室

入場：無料(事前申込不要) 定員：30名

じしんのくに 地震国のアーキテクチャ

西川 英佑



地震で歪んだ塔の引き直し（奈良県奈良市の薬師寺東塔）



仏堂の耐震補強（屋根で隠れる箇所にも格子壁を設置）

私は学生時代、五重塔や三重塔といった伝統的な木造建築の構造に感銘を受け、なぜ地震や台風といった厳しい日本の自然環境の中で、数百年の間、残ってきたかに興味を持ち、これらの建物の地震との葛藤について研究してきました。そして、現在はこれらの建物を含む文化財建造物を地震から守る仕事に従事しています。国際的にも有数の“地震国”においてどのような文化財保存のための取り組みが行われているかをご紹介します。



西川 英佑（にしかわ えいすけ）

略歴：

1979 年 生まれ

2004 年 京都大学大学院修士課程修了

2005 年 東京工業大学大学院博士課程入学

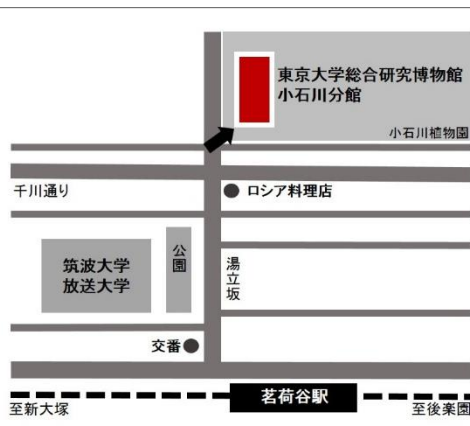
2010 年 同上修了（学位論文「伝統的な木造層塔の地震被害の発生機構に関する研究」）

2010 年 東京工業大学大学院研究員

2011 年 現職



地震力により変形する三重塔の斗きょう



東京大学総合研究博物館小石川分館

〒112-0001 東京都文京区白山 3-7-1
Tel. 03-5777-8600（ハローダイヤル）

開館時間：10:00-16:30（入館 16:00 まで）

入館料： 無料

休館日： 月・火・水曜日

（いずれも祝日の場合は開館）、年末年始、その他博物館が定める日

アクセス： 地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩 8 分

<http://www.um.tokyo.ac.jp/architectonica/index.html>

建築博物館とは？

「アーキテクチャ」をテーマにさまざまな分野の研究者が講演を行い、関連した標本を「アーキテクトニカ・コレクション」として展示していくシリーズイベントです。

建築ミュージアム / アーキテクトニカ

KOISHIKAWA Annex.

UMUT

東京大学総合研究博物館小石川分館